

教育目標

夢を一緒にかなえよう

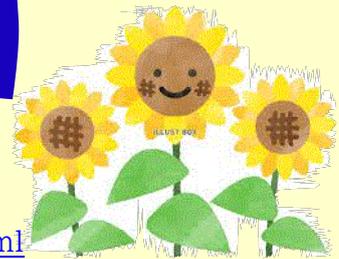
～気付き・考え・高め合う～

ひまわり

住所：〒893-0057 鹿児島県鹿屋市今坂町12560-2

電話：0994-44-8725 FAX:0994-40-1220

HP：[//www.edu-kanoya.net/edu/nishiharadai/es/index.html](http://www.edu-kanoya.net/edu/nishiharadai/es/index.html)



豊かな体験を、そして充実の夏休みに

校長 田中 雄志

大きな事故もなく1学期が終了します。保護者の皆様や温かく見守ってくださった地域の方々に厚くお礼を申し上げます。

子どもたちは、様々な学習や遊び、行事や日々の生活を通して、それぞれの持ち味を生かし、互いに理解し合いながらがんばってきました。1年生はすっかり学校に慣れ、楽しく学校生活を送っています。6年生は最上級生としての自覚が生まれ、落ち着いた態度で学習しています。2～5年生もそれぞれに順調に成長しています。

さて、いよいよ夏休みがやってきます。この夏休み、子どもたちには多様な「生活体験」や「自然体験」をしてほしいと願っています。この夏もコロナ禍が続いており、遠出ができなかったり多くの人が集まるような活動ができなかったりすると思いますが、だからといって家の中でテレビやゲーム、スマホ・タブレットと向き合っているだけでは、せっかくの夏休みがもったいないです。ぜひ、学校ではできないような貴重な体験を数多く経験してほしいと思います。



より豊かな体験にするために、保護者や地域の方々など周りの大人の人に心がけていただきたいことが2点あります。

1点目は、まず大人が率先して行動することです。一緒に汗をかき、行動し、発見や感動、疑問、調べたいことなどを子どもに話すことが大切です。そうすることで、子どもも素直に思ったことを話すようになりますし、体験を通じた親子や地域との絆がより一層深まると思います。

2点目は、子どもの主体性、個性を大切にすることです。体験は、単に機会を与えればよいものではありません。子ども自らが、積極的に関わり、試行錯誤しながら、自分で決定できる体験を大切にしたいものです。親や周りの大人が全てお膳立てをし、大人の言うとおりに動くだけでは本当の体験にはなりません。大人は安全に配慮しながら見守る姿勢を大切にしたいものです。そうすることで、体験を通して子どもたちは自信をもち、その自信が主体的、個性的に生きる力の源となっていきます。

この長い夏休みを「生活体験」「自然体験」の絶好の機会と捉え、早めの計画を立て、挑戦させてほしいと思います。そして、2学期に「先生、あのね、夏休みにこんなことをしたんだよ。」とたくさん聞かせてくれることを期待しています。

新型コロナの急拡大が続いています。熱中症も心配です。42日間という長い夏休みも、引き続き感染予防に努めながら、子どもたちが安全に健康に過ごせますように、どうぞよろしくお願いいたします。